

## ドラム缶等による燃料の仮貯蔵・仮取扱い実施計画書【例1】

### 1 目的

震災等により被災地においてガソリン等の燃料が不足した場合に災害復興支援車両等への燃料補給を行うことを目的とし、危険物施設以外の場所での一時的な貯蔵やドラム缶から手動ポンプを用いて金属製携行缶への詰め替えを行い、仮設の燃料供給拠点として利用するために必要な事項を予め計画します

### 2 仮貯蔵・仮取扱いをする場所

佐世保市〇〇町〇〇〇番地〇号 □□□会社東側空地（コンクリート舗装）

### 3 仮貯蔵・仮取扱いに使用する部分の面積

約〇〇〇平方メートル（〇〇メートル×〇〇メートル）

### 4 計画地のレイアウト

別紙のとおり

### 5 仮貯蔵・仮取扱いをする危険物の類・品名・数量

第4類第1石油類（ガソリン） 3,000リットル

### 6 指定数量の倍数

1.5倍

### 7 貯蔵及び取扱いの方法

- (1) 200リットルの金属製容器（ドラム缶）により貯蔵する。
- (2) 保有空地进行を6メートル確保する。
- (3) 貯蔵場所と取扱い場所に6メートルの離隔距離をとる。
- (4) 高温になることを避けるため、必要に応じて通気性を確保した日除けを貯蔵場所に設ける。また、取扱場所において危険物が炎天下長時間さらされないようにする。
- (5) 第5種消火設備 10型ABC粉末消火器 3本を設置する。
- (6) 標識、掲示板を設置し注意喚起を行う。  
「危険物仮貯蔵所・仮取扱所」、「危険物の類・品名・数量（倍数）」、「火気厳禁」

### 8 安全対策

- (1) ドラム本体、給油に使用するドラムポンプ等のアースを確保する。
- (2) 危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者免状保有者が行う。
- (3) 危険物を取扱う者は、静電安全靴を着用する。
- (4) 〇〇〇〇

### 9 管理状況

- (1) 保有空地的の周囲にバリケード等を設け、空地进行を確保する。
- (2) 敷地的の出入り管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。
- (3) 作業前と作業後に点検を行い、その結果を記録する。
- (4) 〇〇〇〇

### 10 その他必要な事項

金属携行缶による給油は、この場所以外では行わない。

〇〇〇〇・・・・。

実施計画書提出者住所・氏名・電話番号